

Scouting Ibaraki



茨城県連盟創立60周年記念レセプション

2012 Vol.35



日本ボーイスカウト茨城県連盟
<http://www.scout-ib.net>

県連創立 60 周年記念式典

2011年11月12日、ボーイスカウト茨城県連盟創立60周年記念式典が、行方市のレイクエコーで、橋本名誉連盟長（県知事）、奥島日本連盟理事長、県関係者、ボーイスカウト振興国会議員連盟、ボーイスカウト振興茨城議員連盟、関東ブロックの連盟の方々のご臨席のもと、盛大に挙行されました。

当日は、記念式典、奥島理事長の記念講演、記念レセプションの3部構成で、歴史の重さと私たちのスカウトの使命、スカウト仲間の深い繋がりを感じた1日となりました。

記念式典では、関連盟長の式辞、橋本名誉連盟長、奥島理事長等のご挨拶、60周年記念表彰に続いて、60周年旗が各団に渡され、60周年「絆」プロジェクトの開始され、また60周年

のスカウト宣言が発表されました。

奥島理事長の講演は、「震災とスカウティング～そなえよつねに～」のテーマで、スカウトとは何か、スカウトは何をすべきか、スカウトたる条件は何かの、熱いお話をいただきました。

レセプションは、鏡開き、先輩諸氏の紹介、プロジェクトX「県連60周年の歩み」に続き、懐かしのキャンプファイヤーを囲みながら、スカウトバンドの演奏でスカウトソングをみんなで合唱し盛り上がりました。

式典、レセプションは、先輩諸兄が築かれたボーイスカウト茨城県連盟の歴史と伝統を踏まえ、またボーイスカウト運動の原点に立ち返り、本運動の更なる発展と次代を担う青少年の健全育成に努力することを確認して終了しました。



県連創立 60 周年記念式典

● 創立 60 周年を迎えて

連盟長 関 正夫



関 正夫 連盟長



橋本 昌 名誉連盟長



振興議員連盟の皆さん

戦後、昭和 26 年 5 月の再建から 60 年の節目の年を迎えることができました。この間、関係各機関の皆様からのご支援と、指導者の皆様の絶えざるご奉仕によりまして、今日を迎えることができました。

私たちボーイスカウトは、その原点の「そなえよつねに」をモットーに活動を展開しています。そして、東日本大震災での被災地支援や募金活動、本件独自の取り組みである小中学生に文房具を贈る「友だちパック」に全加盟員が取り組み、展開し、日頃の訓練の成果を発揮しました。

少子高齢化が進み、年々登録人数が減少しており、その影響をどう乗り越えていくかが課題となっています。そのため、指導者のレベルを高め、スカウトが楽しく有用な訓練を通じて、真の公民として成長し社会に送り出すべく、指導者の養成とその運営組織の拡大・充実に取り組んでいるところです。そのためには、この 60 周年を契機に先輩方の築いてきた歴史と思いを振り返り、スカウト運動の原点に立ち帰ることが必要です。

スカウト関係者の皆様には、これらの思いを受け止めていただき、これからの 10 年 20 年に向けて、持ち場、立場でご努力されるようお願いいたします。

正岡子規はこう読んでおります。「1 年は正月に、一生は今にあり」と。

本運動を通じて、県民の期待に応えることにより、多くの青少年に開かれた活動となるように期待しています。



弥栄三唱



絆プロジェクト



60 周年スカウト宣言



地区の歌



OLD BOYS



60 周年の歩み



ALL STAFFS

スカウトとして何ができるか！ 東日本大震災

2011年3月13日発

スカウト (BS,VS,RS)、そして指導者の皆さんへ

M9.0という未曾有の東日本大震災が起きました。

皆さんは「スカウト」です。

まず一番に、自分自身のこと、ご家族のことでなければならぬことをきちんと行いましょう。

次に、「スカウト」であることを、強く意識してください。

ベンチャーやローバー諸君の中には、一刻も早く罹災地に赴いてボランティア活動を・・・と思っている方もおられると思います。それは、すばらしい心がけだと思いますが、皆さんの近所で援助を求めている方々がいることを忘れないでください。たとえば一人暮らしのお年寄など、家の中が散乱して途方に暮れている方がいるかもしれません。給水所に水をもらいにいけない方がいるかもしれません。

まず私たちがすべきなのは、このような身近で困っている方を援助することです。

班の仲間や近くのスカウトたちとチームを組んで（単独行動はせず、必ずチームで）行動を起こしましょう。そう、今、すぐに。

そのときは、必ず制服を着て行動してください。制服は「信頼」の証（あかし）です。どこの誰だかわからない人に援助は求めにくい世の中です。制



服を着たボーイスカウトはそれだけで信頼されるのです。

スカウトも指導者も、自分ができる範囲でいいのです。無理してケガをするようなことは避けてください。親切の押し売りもためです。

子供（スカウト）は、子供のできることがあります。大人（指導者）は、大人のできるがあります。

特に指導者の皆さんは、スカウトを指導する立場にあることを忘れないでください。自ら進んでボランティアに参加されるのは大いに結構ですが、ス

カウトの活動・行動を見守り指導するのが私たちの役割なのです。スカウトから求められれば、指導者の立場での行動をお願いいたします。

まだまだ余震が続いています。支援活動をする場合は、十分に気をつけて行ってください。

募金実施団数	48 団
募金総額	¥3,883,921
独自支援活動	13 団
友だちパック対応団	50 団
友だちパック総数	3,854 個

(第2回) ベンチャーラリー 2011

2011年11月27日に、(第2回)ベンチャーラリー 2011 が、土浦市の乙戸沼公園を中心に開催されました。

このベンチャーラリーは、第1回の4人チームの「リリアビリティラン」、そして今回の2～5人チームによる「ロゲイニング」の2種類の競技を行っています。

ロゲイニング (ROGAINING) とは、スコアオリエンテーリングを発展させた競技です。地図上に示された点数の付いたチェックポイントを、6時間という制限時間内に出来るだけ高得点になるように回ってくるゲームです。

今回は、若干時間を短く5時間とし、乙戸沼公園を中心に半径10km内に設

置してあるチェックポイントを探して、熱い戦いが繰り広げられました。参加チームは、残念ながら3チームのみのエントリーでしたが、3チームの得点が肉薄する中、みごと優勝したのは阿見第1野澤・下村くん、かすみがうら1渡辺くんの「ぶたさんチーム」でした。

次回ベンチャーラリー2012は、3月24日～25日で、同じく土浦市の土浦青少年の家を中心に「ロゲイニング」で実施されます。次回は地区対抗です。地区や団でチーム編成して参加してください。

★参加者の感想★

「ホントめっちゃ楽しかったです。」
「読図に自信がなかったのですが、縮



尺と距離感がつかめるようになりました。」
「どうしてみんな参加しないのかなあ。次回はもっと多くのチームで競い合って楽しみたい。」

平成 23 年度茨城県表彰を受章



ボーイスカウト茨城県連盟は、「多年にわたり、ボランティアの普及発展に取り組むとともに、社会福祉施設への訪問やチャリティ活動などを行い、芸術文化の振興と福祉の向上に寄与した」ことにより平成 23 年 11 月 11 日、平成 23 年度茨城県表彰を受けました。

第 22 回世界ジャンボリー行ってきます



第 22 回世界スカウトスカウトジャンボリーがスウェーデンで開催され、茨城からは西嶋由貴子隊長をはじめ、指導者 3 名、スカウト 19 名が参加しました。一行は 7 月〇日に日本を発ち、〇日間の国際交流を行い、8 月〇日に大きな成果を上げ帰国しました。

茨城県社会貢献表彰を受章



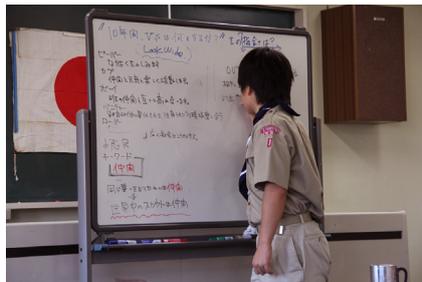
アフリカのルアンダで義足の無料提供し障害者の自立を支援し続けているルダシングワ・吉田真美さんが夫のガテラさんと共に 12 月 24 日に県青少年会館で BS と GS に向けて講演されました。「大切なのは行動」との実践者自らの言葉はスカウトの心に響きました。

指導者トレーニングキャンプ場開拓



県連は、土浦市青少年の家に隣接地を指導者トレーニング用地として借り受けていましたが、1 月 8・9 の両日、TT・コミッショナーとオナートレーナーが密生した篠を切り開き、サイト 3 つと中央広場、そして倉庫までの通路の開拓しキャンプ場を作り上げました。

60 周年記念スカウトフォーラム



60 周年式典で行われる「60 周年スカウト宣言」に向けて、今スカウトは何をすべきかをテーマに、スカウトフォーラムが 10 月 29 日、茨城県青少年会館で開催されました。フォーラムにはベンチャー 6 名を含む 18 名が参加し宣言をまとめ理事会に答申しました。

日連全国大会三鷹スカウト会館で開催



3.11 大震災で会場の県民文化センターが使用できなくなったため、急遽会場を三鷹のスカウト会館に移して日本連盟の全国大会が、日連・茨城スタッフにより 5 月 28 日に実施されました。9 月にスカウト会館の移転を控え、会館での最後の大きな行事となりました。

トレーニングチーム自主トレ実施



東日本大震災に影響で WB 研修所が中止となり、また被災地に赴くことが手続き上叶わなかったトレーニングチーム有志が土浦市青少年の家で GW の期間中に自主トレを実施しました。開拓したキャンプとの間に橋を架けたり、野営法研究会のセッションの検証をしたりと中身の濃い研修をしました。

60 周年式典リハーサル



「ボーイスカウトらしい素晴らしい式典」と評価を受けた 60 周年式典の裏には、厳しさ・情熱・連帯感と、個々の積極的かつ真剣な姿勢がありました。そして RS の力を再確認した時でした。

IVY バンド結成しました



60 周年レセプションで演奏を担当する IVY バンドが結成。メンバーは笠間 1 大月、牛久 1 吉田、土浦 2 小沼の 3 人。2012 年のキャンボリーでの活躍が期待されます。メンバー募集中です。